

経営のヒント209 努力の反対語

努力の反対語は？」

「あ」の世と言えば、大往生という言葉があります。

大往生というのは心安らかに死ぬことです。

「往生」は死ぬことを意味するのですが、「生の世界に往く」と書いて「往生」。

死の世界に往くのに、「生の世界に往く」と書く。

私たちは今、「い」の世に存在しています。

しかし「命を生み出すすべての本質は「あ」の世にある」

と反定するのならば、「往生」とは、「生」を生む「あ」の世に往く」と考えることができます。

「い」の世における「努力」の反対語は「怠惰・怠慢」です。

私たちは、学校教育の中で、当然のようにそう教わりました。

しかし本質的なものがある「あ」の世では、「努力」の反対語は「怠惰・怠慢」ではありません。

「努力」の反対語は「感謝」です。

天上界からのメッセージによると「努力」とは、自分の力しか信じないこと。

すべてのことは自分の力で、自分の能力で切り抜けられると信じていることを指すそうです。

「感謝」とは、自分の力はどこにもないことを思い知ること、思い定めることを指すらしい。

「あ」の世では、「自分の力で何とでもなるぞ」というのが「努力」

「自分の力なんてどこにもないんだよ」というのが「感謝」なのです。

この事実を知ってしまうと「う」と唸るしかないわけです。そして、そんな価値観を教え込まれていないので、そんなの信じることはできるわけがない、と反発する心が湧いてきます。

それが「えー」になる。

でも、実際にそういうことが概念として頭に入った上で、10年、15年と生きていくと、いつの間にか

「あー」に変わります。

自分の「努力」で世の中や自分のまわりの環境が成り立っているわけではないと、悟るのです。

自分の意思でお茶を飲んでいると思うかもしれませんが、あなたがお茶の葉を育てた訳でも、容器も作った訳でもありません。その意味では「自分の意思で飲んでいる」というのは傲慢なのです。

あなただけの力では決してないのです。

水、太陽、空気、すべて大地からいただいたものを食べ物という形を通して、身体の中に取り込んでいます。自分の力で何かが成り立っていくものなんて、何ひとつないことがわかってしまうと、「努力」の反対は「感謝」だとわかります。

この宇宙的な事実が気が付き、「努力」をしないで「感謝」することに切り替えた瞬間、四次元的なプラスエネルギー（神様）が味方を始めるようです。

「えんの法則」小林正観著 大和書房

<経営のヒント>

努力の反対語は何か？

ここに現代の盲点があるように感じます。

運命の開拓には二通りの方法があります。

能力的知性では努力の蓄積です、思想的知性では出逢い（メンター）を活かすことです。

つまりは喜捨の効果、執着の放棄。関係性の中に自己の真価を見出すことです。

その為に一番重要なことはすべてに感謝することが基本となりますね。